

ガルフストリーム

50周年記念

ガルフストリームが本年度で50周年を迎えたことを記念し、3月号に続き今月号でも50周年特集をお届けします。今回は総領事からのお言葉をはじめ、これまでガルフストリームの編集委員・委員長として発行に携わってこられた方々から当時の思い出や熱い思いを語っていただきました。



ガルフストリーム創刊50周年、誠におめでとうございます。常勤スタッフ不在の中、ボランティアのみでの広報誌の作成がどれだけ大変か、想像に難くありません。愛読者の一人として、発刊に携わられている全ての関係者に深く御礼申し上げます。

ガルフストリームが発刊した1975年は、第一次オイルショックを受け、産油地であるヒューストンが活況を呈し始めた頃です。人口は急増し、経済も大きく成長しました。その後、一時原油価格は暴落し、経済も低迷しましたが、ヒューストンは、航空宇宙などの先端分野にも注力し、産業の多角化に努めます。シェール革命で脚光を浴びた後も、「エネルギーの首都」と共に「エネルギー・トランジションの首都」をスローガンに掲げ、カーボン・ニュートラルの諸事業も開拓していきます。大きく変化する時代状況の中でヒューストンが新たな挑戦を続け、発展を遂げていることは素晴らしいことです。また、日本企業の方々がその努力に共に取り組み、大きな成果を生み出してきたことを誇りに思います。ガルフストリームは、そのような日本企業を支え、その歩みを歴史に刻んできました。

翻って、この50年間で、日本を取り巻く情勢も大きく変化しました。国内では、バブル崩壊後に「失われた30年」が訪れ、多くの日本人は自信を失いました。国際的にも、日本の安全保障環境は戦後最も厳しいものとなっています。現在アメリカで一番勢いがあるのがテキサス。そのテキサスの最大の都市がヒューストンです。ヒューストン日本商工会は、日本に活力を取り戻し、日米関係をさらに強化するエンジンとなる大きな役割を有しているのではないのでしょうか。ヒューストン日本商工会とガルフストリームが次の50年も日本を元気にし、さらに発展していくことを心から祈ります。

(在ヒューストン日本国総領事 長沼 善太郎)



私は1999年9月から2003年7月までヒューストンに駐在し、編集委員の仲間に入れてもらっていました。当時、丸紅の支店長であった故岸本さんが編集委員長であったため、毎月の編集委員会も丸紅の会議室で開催していました。編集会議では毎回美味しい仕出し弁当が提供され、私はそれが楽しみで欠かさず出席していたようなものです。

商工会会報誌「ガルフストリーム」の紙面構成は前半は会報らしい固い記事、後半は生活を楽しんでもくれる柔らかい記事という感じになっていました。この柔らかい記事は、編集会議での雑談の中から編集委員長が独自の基準で話題を選び、記事化を発言者をお願いするという流れでした。社会人経験の浅い私は、編集委員長の優しい雰囲気と人柄の中心掌握の手腕に大変感銘を受けました。

ヒューストンで生まれた息子も今年で25歳になりますので、ヒューストンでの記憶もだいぶ薄れてしまいましたが、今回このような機会をいただき、色々なことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。ガルフストリームを継続いただいている今の編集委員の皆様へ感謝申し上げつつ、50周年のお祝いを申し上げます。これからも頑張ってください！

(JETRO 前川 直行)



“ペンネームを許された男”より

2度の駐在(00～03年と15～19年)でいずれも編集委員となり、1度目の時は編集委員自ら記事を書く事が多く、ノルマはつらかったものの、日々何か記事になるネタはないか、いつも考えていたのが楽しい思い出です。

思い出に残っている記事としては、2000年頃の私の記事“Memorial Driveの達人”(前編/後編)です。

車社会のヒューストンで、運転が苦手で大嫌だから、やむなく遠距離をひたすら下道で通う男の苦悩と葛藤?!が綴られています。当時、編集長から「商工会

機関紙やけど、読んでもらってなんぼ。読者を惹きつけるオモロイのを書いて！」と特別にペンネームの使用まで許して頂き、お陰様で心置きなく、かる～い記事の執筆に邁進していたのでした…。

この度は、50周年おめでとうございます！駐在時、ガルフストリームは心の支えであり、商工会員同士の絆も深める貴重な媒体でした。今後更に日本企業も増え、ヒューストン自体も発展していく中、益々誌面を充実させて、人々の絆を深める素晴らしい機関誌であり続けて下さい。編集委員の皆様も、大変でしょうが引き続き頑張って盛り立てていって下さい！！

(三菱商事 増田 徹)

ガルフストリーム 50周年記念



こんにちは。弁護士の八木謙一です。
私がガルフストリームの編集委員になったのは2004年。最初はイベント情報の調査や誌面デザインなど裏方の仕事から始まり、今では多くの方とつながる大切な場となりました。

当初はシンプルに「商工会会員のための情報誌」という印象でしたが、実際に関わってみると、他の日系団体の活動紹介も多く、地域全体の動きに自然と目が向くようになりました。また、編集委員会の場では、和やかな雰囲気の中でやり取りが刺激となり、日々の励みにもなっていました。各委員の個性がぶつかり合いな

がらも調和して一つの目標に向かい、ガルフストリームは、多くの人の情熱と知恵が結集した、貴重な存在だと感じています。

2014年7月からは「テキサスメディカル」の編集を引き継ぎました。第118号から始まり、今月で第244号を迎えました。医療従事者の懇親会「Kubo's会」では、記事を執筆いただいた先生方と直接お会いする機会もあったり、そのご縁はJMTX(日本テキサス医学振興会)にも広がり、思いがけず新しい分野の方々との交流にも恵まれました。

これからもガルフストリームが、読者にとって身近で信頼できる情報源であり続けることを願っております。

(弁護士 八木 謙一)



2013年から2016年まで東芝インターナショナル米国社に駐在し、ガルフの編集委員を前任からの引継ぎで務めていました。

当初は、私自身、ヒューストンに不慣れで手探りでしたが、新入りとして、新しく進出する企業や新駐在員が知りたい情報を、ということで、会員企業のオフィス所在地や日本人の多く住む地域(補習校の生徒が通う現地校)の記事などを自ら執筆しました。最近でも偶にWEBでガルフを拝見しますと、より洗練された最新データの記事が掲載されていて(2022年1月号、2022年5月号)、少し嬉しく思います。

また、補習校から弊社モーター工場への社会科見学については、会社側の事務方も務めましたので、生徒の皆さんの喜んでる様子の記事(2014年12月号)もいい思い出です。当時の生徒は今ではもう大学生くらいでしょうか。

その他、ソフトボール大会やジャパンフェスティバル等の各種行事の記事や写真を担当し、帰国間際には妻も現地留学体験談を寄稿しました(2017年2月号)。駐在期間中を無事に過ごすことができましたのも、商工会会員の皆様のお蔭かと、心より感謝しております。

(東芝 武田 和也)



ガルフストリーム発行50周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。2018年9月号より2021年5月号まで、編集委員長を務めさせていただきました。

着任後の1年間で商工会の各種行事を経験して記事にする流れを覚えた矢先、2020年初頭から新型コロナウイルスのパンデミックに直面しました。商工会の活動が制限される中、新型コロナウイルスに関連した情報発信の場として記事の再構成を図り、編集委員会会議も対面からWeb会議となり、紙面での配布から商工会HPを通じた電子版での発行に移行しました。制約の多い中で、毎月12ページ

の構成で継続して発行できたのは、編集委員の皆様のアイデアと情熱によるものでした。

ワクチン接種が浸透し始めた2021年5月に商工会のイベントとして開催された「バーチャルウォーキング大会」は、編集委員でもチームを作って参加した思い出に残る活動です。大会を盛り上げるべくガルフストリームの号外を発行したのも忘れられません。

50年にわたる長い歴史の一部に携われたことを誇りに思っています。ボランティアでの編集委員の活動に、より多くの方々に携わって頂ける事を祈念し、100周年の記念号に向けた引き続きのご発展を期待しています。

(JOGMEC 松澤 進一)



ガルフストリーム発行50周年おめでとうございます。2019年夏から2023年の春先まで4年弱ほど編集委員を務めた鶴飼です。当時、私はHouston Walker欄を担当していましたが、コロナ禍でイベントが次々とキャンセルになったことや、非接触のイベントとして企画されたウォーキング大会を盛り上げるために号外版を作ったことなど、今でもよく覚えています。ガルフストリームの良かった点は、どうしても自分の会社内だけにとどまりがちな人間関係を広げてくれたことです。例えば、ヒューストンにはラオスからの移民がたくさんいて仏教のお寺もあること、そのお寺で灯籠流しのような美しいお祭りが行われていることなど、ガルフストリームに関わらなかったら一生知らなかったと思います。(ご興味のある方は23年8月号をご覧ください。)

最近はSNSで気軽に情報が手に入るようになり、昔ほどはガルフストリームの情報が貴重に思えなくなっているかもしれませんが、それでも執筆者がいて、編集者がいて、商工会や総領事館など様々な方のサポートを得て紡ぎ出されるガルフストリームは、ヒューストンの日本人にとって信頼のできるかけがえのないメディアだと思います。次の節目の100周年に向けて、ガルフストリームのますますの発展を期待しています。

(日本製鉄 鶴飼 信)

インドのエネルギー事情

2022年3月まで5年間住んだこの街に4月にまた戻ってきました。景色もお店も3年前とそれほど大きくは変わっておらず、「あ〜、また戻ってきたなあ」ってなんだかホッとしています。

前回の駐在時は、17年のハリケーンハービーとアストロズの球団創設以来初のワールドチャンピオンシップ、20年からのパンデミック、21年2月の大寒波など本当にいろんな経験をしました。今回の駐在期間は平穏無事に過ぎてくれることを祈りたいです。

今回、ガルフストリーム ビジネス記事寄稿の機会をいただきましたが、3年のブランクがある私がいきなりテキサスやヒューストンのことを語るのには憚られますので、今回の駐在直前まで大阪の本社から統括していたアジア、中でも皆さんにとってあまり馴染がなさそうなインドのことを、少しご紹介いたします。

なお私はインドに出張で計2週間強、4都市に滞在しただけですので、以下のお話は広大なインドのほんの一部分にとどまってしまうこと、あらかじめお詫びしておきます。

今のインドってどんな国？

みなさまご承知の通り、インドの人口は2023年に中国を抜いて世界第1位になりました。23年末時点で14.4億人です。

国全体のGDPは約3.9兆ドルで世界第5位ですが、一人当たりGDPは2.7千ドルで世界第150位前後にとどまります。ちなみに日本は国全体が4.0兆ドル(世界第4位)、一人あたりが約33千ドル(同第38位)。日本の国全体のGDPが近い内にインドに抜かれるのはほぼ確実のようですが、3千ドル弱という今のインドの一人当たりGDPは日本の1970年代前半のレベル。これって私が実際インドで見た景色となんとなく符合します。スマホやUberやEVなど令和の最先端技術を使いこなす人もたくさんいる一方で、ビジネス街を少し外れると昭和40〜50年代のように未発達で雑然として、でも活気にあふれる感じ。町中がすっかりきれいで整然としていて、でもなんとなく静かなヒューストンとは随分景色が違います。

他の経済指標でも、新車販売台数、エネルギー使用量、二酸化炭素排出量などでインドは中国・米国に次ぐ世界第3位で、日本をすでに追い越しています。

25年度(25年4月〜26年3月)の国家予算は日本円換算で約91兆円ですが、借入れを除く税収などの歳入は約62兆円で、日本同様財政の国債依存が課題です。

貿易収支は24年度(24年4月〜25年3月)約28百億ドルの赤字。日本の同期間の貿易収支5.2兆円の10倍弱と非常に大きく、この改善が政策課題となっています。

インドのエネルギー事情

〇概観

インド国内には原油・石炭・天然ガスなどのエネルギー資源がある程度賦存しますが、原油の国内生産がそれほど多くないため国内需要の9割弱を輸入に頼っています。天然ガスは国内生産で5割強を賄い、不足分は海外から液化天然ガス(LNG)を輸入しています。

前項でご説明したとおり、インドでは巨額の貿易赤字の改善が大きな政策課題となっており、国産資源である石炭・天然ガスの利用最大化、および再生可能エネルギーの導入拡大をエネルギー政策の柱としています。また温室効果ガス排出実質ゼロのターゲットも他国より遅めの2070年に設定しています。

〇電力

インドの総発電量は約1,800TWhで世界第4位。日本の約1.8倍です。安価な国産石炭の依存度が高い(2022年で発電量の約7割が石炭火力)のが特徴ですが、発電や暖房のための大量の石炭使用に伴う特に冬期の深刻な大気汚染が大きな社会問題になっており、再生可能エネルギー、特に風力と太陽光の導入拡大のためさまざまな政策を打ち出しています。

特徴的なものは、オフサイト再エネ電源に対する託送料金減免と、配電事業者に対する部分供給(*1)の義務化。これらの制度を活用し、GAFAMをはじめとする大口需要家との間で いわゆるコーポレートPPA(*2)を締結して大型再エネ電源が数多く建設されていますが、日本同様再エネ適地と

需要地は必ずしも近接しておらず、この間を結ぶ送配電線網が計画通りに拡充されるかが課題です。

〇天然ガス

インドの天然ガス需要は実は肥料用がトップ。莫大な人口を養うために、安価な国産ガスを優先的に肥料工場に割り当てる政策が取られています。また意外に多いのは自動車燃料用途。原油やガソリン輸入による貿易赤字を少しでも減らすため、肥料工場と同様に安価な国産ガスが優先的に輸送用に割り当てられています。ガソリンスタンドでの圧縮天然ガス(CNG)価格はガソリンより安いので、それほどパワーを必要としないリキシャ(3輪タクシー)はCNG車が多く、どのスタンドにも給ガス待ちで列をなしています。

日本と違って発電用途のガス消費はそれほど多くありません。これはミドル・ピーク需要対応に石炭を使っているからです。

私は50歳半ばでの“インドデビュー”だったのですが、だんだん面白さがわかってきて「また行ってみたいなあ」と思っていたところでの今回のヒューストン駐在。さすがにしばらく行く機会はなさそうなので、インド映画でガマンします。(Youtubeで、大ヒット映画「RRR」のエンディングダンスシーンをほぼ毎晩観ています(笑))

(*1) ここでは、電力需要のうち再エネ電源で供給できない部分を、火力など他電源で補完供給することをいいます

(*2) 需要家と発電事業者で締結する、長期ベースでの電力(ここでは再エネ電気)の供給・購入に関する契約

(商工会副会長 Osaka Gas USA 生田哲士)



▲インド南西部 チェンナイ(旧称マドラス)郊外のガソリンスタンド 奥に見える白いタンクにLNGを貯蔵



▲ガソリンスタンドでの小型乗用車への給ガス風景。後ろにいるリキシャ、トラックも給ガス待ち。



◀インド国内の幹線パイプライン(エネルギー関連カンファレンスでの展示) 国内ガス田やLNG輸入基地と主要都市を結ぶように幹線パイプラインが張り巡らされている

- 出典
- 人口・GDP: 世界銀行(2023年)
 - 新車販売台数: インド自動車工業会(2024年)
 - エネルギー使用量: 米国EIA (2023年)
 - 二酸化炭素排出量: 米国CIA (2023年(推計))
 - インド国家予算: インド財務省
 - 貿易収支: JETRO 25年4月 ビジネス短信
 - 「エネルギー事情」内各種データ: IEA インド(2022年)、日本(2023年)

1. 選挙結果と政権基盤の強化

2024年の米大統領選挙では、スウィング・ステート(接戦州)をすべて共和党が制し、ドナルド・トランプ氏が圧勝を取めた。共和党は上下両院でも過半数を確保し、「トライフェクタ」(大統領職・上院・下院の制覇)を実現。トランプ政権としては、係る政治基盤を背景に、中間選挙に向けた選挙期間に突入する前に大胆な政策を迅速に展開したい考え。米国民の多くは現在、アメリカが「正しい方向に進んでいる(Right Direction)」と回答しており、その割合はオバマ第一期政権以来の高さを記録。関税政策発表後も、トランプの全国支持率は概ね40%以上を推移し、また、共和党内に限った支持率でいえば70%以上と依然として高水準を維持している。

2. 最高裁判所と政治色の強まり

米連邦最高裁判所は、9名のうち6名が保守派という構成となっており、中絶、アフターマティブ・アクションなどを巡る判決にも政治的傾向が現れ始めている。行政府の広範な解釈権限をもたらした判例を覆した判決は、トランプ政権による規制緩和を見極めるうえで重要であり、今後半世紀にわたる保守派支配の端緒と目されている。トランプはさらに保守派の若手を指名する可能性があり、司法を含めた国家統治の保守化が進む。

3. 色豊かな閣僚人事

トランプ政権の閣僚は、忠誠心を最重視した人事であり、各人が際立った主張や経歴を持つ。商務長官へのハワード・ラトニックの起用や行政効率化省という新設ポストへの実業家イーロン・マスクの任命、行政府の予算管理を行うOMB局長にはProject 2025の策定にも関わったラス・ヴォートの起用など、既存の枠組みを打ち破る姿勢が強い。エネルギー・気候変動分野においては、内務長官兼国家エネルギー評議会議長にダグ・バーガム、エネルギー長官に化石燃料推進派のクリス・ライト、環境保護長官にはリー・ゼルディンを起用し、化石燃料やベースロード電源の開発促進に向け、環境規制も含む大胆な規制緩和に取り組む。このように、MAGA(Make America Great Again)の理念に忠実な人物が閣僚に就くことで、政権運営はよりイデオロギー色を強めている。

4. トランプ政権の政策

トランプ政権の政策を見ていくうえで、その背景や支持母体に分けることが重要だと考える。

・MAGAに訴える政策

連邦政府・米軍内のDEIイニシアチブの廃止、民間企業や高等教育機関におけるDEI取組や積極的格差是正措置に対する追及、不法移民の送還に代表される。これらはトランプ大統領の支持母体である所謂MAGA派から根強く支持されている政策である。

・規制緩和および産業政策

マスク氏をはじめとするIT系その他大企業が望む規制緩和。バイデン政権時に導入された気候変動対策、環境許認可、AI安全性規制に代表される、各種規制の撤廃や見直しなど。事業者にとっては営利活動を進めやすい環境作りになり、政権にとっては製造業回帰や雇用創出といった経済の後押しに繋がり、利害が一致する。

・非一過性要因

アメリカ主導で進められた自由貿易体制に乗じて台頭した中国の脅威への対抗、産業空洞化の是正を狙った製造業の復活・雇用の創出は、手段は違えど根本的には党派の違いに関わらず、トランプ政権固有のものではない。バイデン政権では、IRAに代表される大規模な財政出動によって気候変動分野の国内産業の育成を目指した。現政権では、規制緩和に加え鉄鋼や自動車をはじめとする関税を利用して国内への製造業の移転・回帰を狙う。中国に対する懸念は凡そ超党派で共有されており、経済的分離やサプライチェーンの国内回帰については暫くの間は進むことが予想される。

5. 米国経済への影響

トランプ政権が進めるこれらの政策は、いずれも相反する効果をもたらしている。特に、規制緩和および極端な保護主義による国内製造業の回帰・雇用の創出と、関税によるインフレ加速と景気減速の対比は、企業や投資活動にしばらくの間尾を引きかねない不確実性をもたらしている。当初は規制緩和によって民間部門の活発化が一部で期待されていたが、全世界的な高関税、その副作用としての油価の急落などトランプ大統領を選挙で支援した大企業にとって逆風も多く、望んでいた事業環境とは大きく異なる。トランプ政権にとっては、企業が望む環境を作ることとは目的ではなく、雇用創出とサプライチェーンの国内回帰のドライバーとしての手段にとどまる。

トランプ政権としては、広範な関税導入による短期的な景気悪化を乗り越え、社会

政策で支持率の維持を狙いつつ、可能な限り国内製造業やインフラ関連への投資拡大の効果を早く表面化させたい狙いと思われる。ただし、すでに米国の経済見通しに対する疑念が生じている中、投資活動が容易に進むとは考えられず、そのうえ政府主導で進められる規制緩和にも限りがあるため、この先の製造業の回帰と雇用の創出についても実現性が危ぶまれる。そのうえ、折からの労働市場の逼迫、関税による輸入物品等の高騰、送電網増強の停滞が続く限り、産業育成はさらなる困難に直面する可能性も想定される。

6. トランプ政権の展望

トランプ政権が試みる国内産業の強化と雇用の創出の実現には大きな困難が立ちはだかっている。その実現性を見極めるうえで注目すべき点は三つあると考える。

一つは、二国間交渉の早期妥結による関税の引き下げ。特に中国や東南アジアといった、現時点のアメリカの産業には欠かせない輸入資材・物品を頼る先と適正な関税率への落としどころを図ることは、投資環境の不確実性の除去と米国の産業競争力に直結する問題である。ただし、トランプ政権は銅や半導体などへの追加関税の検討にも言及していることにも留意する必要がある。

二つ目は、関税による景気悪化、インフレ効果が表れる時期と支持率への影響。関税の発動休止期限は7月上旬だが、一部企業ではすでに商品の値上げ表明が行われていることを例にとり、関税による物品価格の上昇は想定以上に早期且つ広範に亘る見方もある。関税がアメリカ市民の実生活にいつ、どの程度の影響を及ぼし、それによる大統領の支持率や反発の度合いは大いに注目される。

最後の点は、共和党議員の動向と議会における立法の進展である。現在審議されている予算法案を成功裏に成立させ、今年末に満期を迎える減税政策の延長を実現できるかは最重要課題である。現状、共和党としては7月4日の独立記念日までの成立を目指しているようだが、全ての共和党議員が合意できる予算法案の策定は至難であり、さらなる議論の延長も想像に難くない。そのうえで、工場の着工や必要なエネルギーインフラの増強には立法による許認可改革が不可欠といえる。2024年会期に許認可改革が頓挫した苦い経験もある中で、如何に速やかに予算法案を通し、中間選挙前に許認可法案を成立させることができるかは、米国の長期的な産業競争力を占ううえで非常に重要な課題である。

現在、世界各地で地政学リスクの高まりが見られ、今回触れた点以外にもトランプ政権に影響を及ぼし得る論点は様々であるが、これらの見通しがつかない限りトランプ大統領が望む偉大なアメリカの復興は道半ばで途絶えることになりかねない。



講師紹介: 入江薫郎 氏



北米三菱商事ワシントン事務所エネルギー・気候変動政策担当マネージャー
石油天然ガスの上流開発、石油コークスのトレーディング・発電所の運営管理、権益保有先のLNG事業の事業管理やオペレーションを担当。
2017-2019年に外務省へ出向し在豪日本大使館にて貿易協定、経済安保などを担当。ワシントンDCには2023年に赴任、戦略国際問題研究所エネルギー気候変動課への出向を経て2025年4月より現職。



私たちStormsは今年で結成6年目、大会出場4回目の比較的新しい企業横断チームで、初出場から昨年まで1回戦負け、4位、2位と順調に順位を上げてきました。

しかし、昨年の大会終了後にピッチャー、セカンド、ショート、サード(副キャプテン)、センター(キャプテン)が帰任や異動でチームを去り、弱体化が避けられない状況に。そんな中、メンバーから「夏の間も練習したい!」という声があり、どのチームよりも早く(?)練習を開始しました。

その甲斐あって、抜けたメンバーの穴を各自がステップアップして補い、更には年明けに大型新人・大橋さんの加入、そして大会直前に伝説のセカンド・きりちゃんが復帰して、今年も穴

の無いチームに、いや、むしろ昨年よりも層の厚いチームになりました。

そうして臨んだ1回戦、相手は、Roadrunnersで、事前情報少なく大会のダークホース的存在でした。相手の穴の無い守備で、なかなか大きなリードを奪うことができませんでしたが、コンパクトなバッティングを心がけることで着実に得点を重ね、5-2で勝利しました。

続く2回戦は練習試合で連敗しているFC JAPAN で、不安の中試合を迎えました。安定の上位打線で初回からリードを得るも、相手の足で稼ぐプレーであっさり逆転されました。しかし、続く3回に打線が繋がって一挙6得点、その勢いが守備にも好影響して相手を0点にシャットアウト。次の回にも大橋さんのダメ押しホームランで2点を追加して10-3で勝利しました。

準決勝は3年連続の住友ダッシュで、お互い宿命のようなものを感じて笑顔で試合を迎えました。強風で制球が定まらず、四球でランナーを背負いながらも固い守備で何とかリードを保っていましたが、3回にアクシデントが発生。ここまでライトで好守を魅せていた笠井さんが両足を攣って退場、さらには守備の乱れから2-4とリードを奪われ、暗雲が立ち込めました。しかし、今年のStormsはここからが本当に強い!! 迎えた最終回の裏、安打と四球で貯めたランナーを犠牲フライ2本で返し、同点で2アウトに。ここでバッターはこの日当たっている領内さん。2ストライクと追い込まれてからの打球がなんとライトオーバーの劇的なサヨナラホームラン!!! 最終的に7-4での逆転勝利で幕を閉じました。

迎えた決勝戦はMitsui Mulligans。ここまで強豪を破ってきた相手の圧倒的な得点力に対し、序盤はしっかり守れていましたが、次第に疲労で守備に支障が出たのか、3回以降は毎回失点で2-4とリードされ、更にチーム1の打率を誇るかつあんが足を攣って退場した状態で、最終回を迎えました。先頭のきりちゃんがヒットで出塁するも、続く直井の打球はゲッツーコースで万事休すかと思われた次の瞬間、打球が大きくイレギュラーバウンドし、これが2塁打に。ここから一気に勢いに乗り、ゆうり君と田中さんの安打で逆点、そこから犠牲打と大橋さんの2塁打で、この回一挙6得点で8-4とリードを奪いました。

最後の守備では、相手の猛迫により2点を返されましたが、ホームに走ってきたランナーを、ファースト領内さんの鋭いバックホーム送球とキャッチャーゆうり君の完璧な捕球でアウトにし、ゲームセット。ついに悲願の初優勝を決めました!!!

2試合連続で最終回での劇的な逆転勝利となりましたが、それが出来たのは、ダブルエース鶴本・山内さん、セットアッパー牧野さんの高い制球力を軸に堅い守備で流れを作って行けたこと、そして何よりもしんどい時や諦めそうになった時にしのさん、ちかちゃん、えり、ご家族の皆さんのベンチからの声援で気持ちを強く持ち続けられたおかげです。本当にチーム一丸となって掴みとれた優勝で、改めて団結力の強さを実感しました。このファミリーのようなチーム文化を築き上げた先代キャプテンを始めとするOBの方々にも深くお礼申し上げます。

また、こんなにみんなで熱くなって楽しめる場を設けて下さった大会事務局及び商工会の方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。ルール変更や直前の悪天候などありましたが、スムーズに対応頂きまして本当にありがとうございます。

他のチームの皆様におかれましても、大会だけでなく練習試合等からご協力頂きましてありがとうございました。また来年も一緒に大会を盛り上げて行きましょう!

(Storms キャプテン 直井、副キャプテン 網干)





ソフトボール大会 準優勝チーム

Mitsui Mulligans



選手・応援に駆けつけていただいた皆様、本当にお疲れ様でした。また、大会のルール整備から当日の運営までご尽力いただき、選手だけでなくご家族も一緒に楽しめる素晴らしい大会を開催してくださった幹事会社・大阪ガス Osaka Gas USA の皆様に、心より御礼申し上げます。

Mitsui Mulligansは、三井物産および関係会社のメンバーで構成されたチームです。今年はソフトボール経験者が限られる中、国籍や年齢、職種の枠を超えた多様な仲間が集まり、週末の練習や練習試合を重ねることで少しずつチーム力を高めてきました。活動開始は昨年12月。当初は練習試合で二桁点差をつけられて敗れることも多く、勝ち負け以前に一つ一つのプレーの精度を高めることが課題でした。しかし、毎週末の練習や、平日夜にバッティングセンターへ通う地道な練習を続けることで、次第に全員の意識とスキルが向上し、チームとして一体感が生まれていきました。



迎えた大会当日、初戦となる丸紅Lonestars戦では序盤に得点を重ねて流れを掴み勝利。2回戦Comets戦では打線が爆発し、全員安打の猛攻で快勝。3回戦Izakaya Wa戦は最大の山場であり、5回にツーアウトから怒涛の反撃で逆転に成功し、劇的な勝利を収めることができました。チームとして掲げていた「Best4進出」の目標をここで達成。準決勝の三菱Red Diamonds戦では、過去に練習試合で敗れていた相手に対して、粘り強く接戦を制し、決勝進出を果たしました。

決勝戦は最後まで全員で声を掛け合い、攻守ともに粘りのあるプレーを展開しましたが、惜しくもあと一歩届かず準優勝という結果となりました。悔しさもありますが、試合後にはメンバー全員が笑顔で健闘を称え合い、このチームで戦えたことを心から誇りに感じています。

今大会を通じて得られた社内外のつながりや、熱く胸を打つ試合の数々は、ヒューストン生活において間違いなくかけがえのない思い出となりました。来シーズンも、楽しく、前向きに、そして全力で戦い抜いてまいります！
(Captain 藤澤 祐太郎)



ソフトボール大会 3位チーム

住友ダッシュ



選手・応援の皆さま、本当にお疲れ様でした。また、直前まで公園側と交渉し、大会を主催してくださった幹事会社の Osaka Gas USA の皆様、ありがとうございました。今年も大人の青春を大いに楽しませていただきました。

今年の練習試合ではバッティングに課題を感じていましたが、大会直前に調子を上げ、順調な調整ができ、自信を持って大会に臨むことができました。昨年の3位の結果のおかげで、シード権を獲得し、昼前の第1試合にゆっくりと臨むことができました。対戦相手は、既に第1試合でOsaka Takoxansとの接戦を制し勢いに乗るINPEX Roughnecks。例年通り、立ち上がりに手間取り、INPEXにズルズルと点数を許してしまいました。あわや初戦敗退かと覚悟した最終回、住友ダッシュに2アウトからチャンスが到来。相手投手の乱れを見逃さず、複数のフォアボールを

勝ち取り、最後はチームの要、元キャプテン島津と翌週に日本帰任を控えた東の猛打により逆転勝利を収めました。

準々決勝の相手は、1回戦でHouston Buckets に23-0で快勝した強力打線を有するカネカ塁球部。毎イニング、カネカの単発出塁は許すも、粘り強い守備陣の奮闘により最少失点に抑え、攻撃陣も幾度となくチャンスをものにして、走攻守がハマり最終的には11-2の勝利を収めました。

準決勝は、3年連続で準決勝での対戦となるStorms。1、2回の相手攻撃に複数ヒットを許すも、守備陣が粘りを見せ最少失点の2点に抑え、3回の攻撃で一挙4得点を挙げて逆転。強風が吹き荒れる中、投手戦が繰り広げられ、同点で迎えた最終回、強力かつ巧みなStorms攻撃陣に連打を許し、涙のサヨナラ負け。1年前の雪辱はならず、来年に持ち越しとなりました。

3位決定戦の相手は三菱 Red Diamonds。気を取り直して、全員が集中し、最後まで気持ちを切らさずにやりきることができ、12-5で勝利を収めることができました。

昨年と同順位の3位となりましたが、今年も2月からの活動開始以降、多くのチームと練習試合を含めて交流を持ち、熱い青春を送ることができました。皆様方と協力してこの大会を盛り上げるべく、引き続きどうぞよろしくお願いします。

(キャプテン 福田 雄紀)

ハリケーン・シーズン到来。 災害への備えはできていますか？

ハリケーンへの準備はできていますか？ テキサス州においては、一般的に6月から11月までがハリケーン・シーズンとされており、特にテキサス州沿岸部へのハリケーン襲来は8月から9月が最も多いとされています。2017年8月にはハリケーン・ハービーが、2024年7月にはハリケーン・ベリルが、それぞれ上陸し、ヒューストンを含むテキサス州沿岸部に甚大な被害をもたらしました。

災害対策については、日頃からの準備が極めて重要です。ハリケーンによる停電・断水に備え、備蓄品や防災用品を用意するだけでなく、避難ルートや避難場所、家族が離ればなれになった場合の連絡方法を予め決めておくことも肝要です。また、職場等では、ハリケーン発生時の対処マニュアルや職員の安否確認要領を作成しておき、少なくとも年に1回は訓練を行っておくことが、いざという時にたいへん役に立ちます。

ハリケーン接近の予報が出た際には、在ヒューストン日本国総領事館からも在留届等の情報を基に領事メールを通じて皆様に注意喚起をしますが、自らも天気予報や報道等から最新の情報を収集しつつ、防災当局の指示に従って、躊躇なく早めに行動してください。

もし大規模な被害が発生した場合には、被害の態様に応じて、在ヒューストン日本国総領事館から安否確認の連絡をする場合があります。このためにも、在留届を確実に届出るとともに、住所、連絡先等に変更が生じた場合、常に最新の情報へのアップデートをお願いします。

・在留届の届出先: (ORRネット)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

また、在ヒューストン日本国総領事館では、ハリケーン対策マニュアルや情報収集のための関係機関へのリンク等を当館ホームページに掲載していますので、今一度ご確認ください。

・在ヒューストン総領事館ホームページ

https://www.houston.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/rvoji_hh_joho.html

ハリス郡やヒューストン市緊急管理局 (Office of Emergency Management) は、ハリケーンの接近・上陸等の緊急事態に備え、ウェブサイトを通じて市民に情報提供を行っています。さらに、危険が迫った際の緊急通報 (アラーム・システム) のサービスを受けるための登録もできますので、是非ご活用ください。

・ハリス郡緊急通報登録: <https://www.harriscountyfws.org/>

・ヒューストン市緊急管理局: <https://www.houstonoem.org/>

・ヒューストン市緊急通報登録: <https://houstonemergency.org/alerts/>

その他にも、ヒューストン都市圏では、トルネードや大雨による被害も発生しています。トルネードは概ね4月から5月がシーズンと言われており、特に5月の発生が多くなっています。更に、ヒューストン市内は、大雨となれば河川が氾濫し、高速道等の主要幹線道路が閉鎖されるだけでなく、床下浸水等の被害が発生しやすくなっています。トルネード等の災害につきましても、日頃からの準備をお願いします。

(在ヒューストン日本国総領事館)

総領事館推奨の災害用品リスト

ハリケーン対策の一環として準備しておくよい防災用品の例をご紹介します。ご家族の状況に応じて、日頃から準備されることをお勧めします。



※基本的な災害用品

- ☐ 水 (一人当たり1ガロン/日、数日分、飲用と衛生用)
- ☐ 食料 (少なくとも3日分の保存食品)
- ☐ 電池式または手回し式のラジオ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 応急処置キット
- ☐ 予備バッテリー
- ☐ 笛 (助けを求めるために)
- ☐ 防塵マスク (汚染された空気をろ過するためのもの)
- ☐ ビニールシート、ガムテープ (シェルターの固定用)
- ☐ ウエットティッシュ、ゴミ袋、ビニール紐
- ☐ レンチまたはプライヤー
- ☐ 缶切り (食品用)
- ☐ 現地の地図
- ☐ 携帯電話 (充電器、予備バッテリー付き)

※追加の防災用品

必要性に応じて、防災用品に追加することを検討してください。

- ☐ 石鹸、手指消毒剤、表面を消毒するための消毒用ワイプ
- ☐ 処方箋。アメリカ人の約半数は、毎日、処方薬を服用しています。緊急時には、処方箋を補充したり、開いている薬局を探したりすることが困難になります。処方箋や市販薬、ビタミン剤などを整理して保護し、いざという時に備えます。
- ☐ 鎮痛剤、下痢止め、制酸剤、下剤などの市販薬やビタミン剤等
- ☐ 虫除け、日焼け止め
- ☐ 粉ミルク、哺乳瓶、オムツ、おしりふき、オムツかぶれクリーム
- ☐ ペットフードと予備の水 (ペット用)
- ☐ 現金またはトラベラーズチェック
- ☐ 保険証書のコピー、身分証明書、銀行口座の記録など、家族の重要な書類は、電子的に保存するか、防水性のある携帯用容器に入れておく
- ☐ 寝袋または保温用シート
- ☐ 気候に合った着替えと丈夫な靴
- ☐ メガネ、コンタクトレンズ液
- ☐ 防水容器に入ったマッチ
- ☐ 女性用消耗品、個人衛生用品
- ☐ 紙コップ、皿、ペーパータオル、プラスチック製食器
- ☐ 紙と鉛筆

テキサス会ゴルフ



「総領事杯」

第580回テキサス会ゴルフトーナメントが、Wind Rose Golf Club(男性6,608ヤード、シニア男性6,069ヤード、女性5,355ヤード、パー72)で5月18日(日)に開催されました。2月に開催予定だった第579回は荒天により中止となったため、8カ月ぶりの大会となりました。

また、今回は、集計作業の簡素化に向け、KDDI America様に開発頂いた、テキサス会専用のゴルフ集計アプリを使用。参加者の皆様に、その仕様確認並びに今後のより良い大会運営に向けてご協力を頂いた大会にもなりました。当日は、強い日差しもなく、絶好のゴルフ日和の中、総勢65名が出場。午前8時よりショットガンスタートで競技を開始しました。

ベストグロスの部では、男性一般の部: 牧山吉喜さんが74で制し、男性シニアの部: 武智真二さんが87、女性の部: 案浦スーザンさんが92で見事獲得されました。



そして、第580回トーナメント優勝には、ヒューストン着任直後の池田圭輔さん(グロス99、ネット71.4)が輝かれました。おめでとうございます。

今回も、日本人会および会員企業各社から数多くのご寄付を頂き、誠にありがとうございました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。第581回テキサス会ゴルフトーナメントは9月21日(日)に予定されております。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。多数の方のご参加をお待ちしております。

(第580回テキサス会幹事団: ENEOS Group/KDDI America)



会社紹介

Lazarus AI

準会員 山本 崇雄

会社の業務内容について

Lazarus AIはボストンが本社で、シードラウンドの資金調達を終えたばかりの新進気鋭のアメリカ発スタートアップ企業です。これまでに日米豪の大手保険会社から投資を受けています。私は、同社でカスタマーサクセス部門のディレクターを務めており、主にお客様のオンボーディングやトレーニングをしています。最先端の技術で世界中の難題解決に挑むLazarus AIの今後ますますの活躍に、ぜひご注目ください！

最近ChatGPTなどの生成AIがブームな中、Lazarus AIはそれらとは一線を画しています。Lazarus AIはコンテンツを新しく生み出すのではなく、企業の業務データから必要な情報を正確に抜き出すことに特化した「抽出型AI」を提供しています。言い換えれば、生成AIがゼロから文章や画像を作り出す存在だとすれば、抽出型AIは大量の既存データの中から欲しい答えを探し出す存在なのです。

例えば、衛星画像から建物の被害箇所を見つけたり、膨大な保険請求書類から必要なデータを取り出して不正請求を検出したりといった作業を、さまざまなファイルタイプに対応した自社開発の基盤AIを使って大きく革新することができます。実際、Lazarus AIの主な顧客は米国の政府・国防機関、大手保険会社や金融機関、医療分野など多岐にわたります。こうした厳しい精度やセキュリティが求められる分野で選ばれていることから、Lazarus AIの信頼性の高さが伺えます。創業から短期間で政府機関や大企業と実績を築いてきましたが、さらにもっと多くの分野で活用できることも知られるようになってきました。今後のますますの成長にご期待ください。

ヒューストン、テキサス州の印象

私はカリフォルニアに15年間住んでいましたが、3年前にテキサス州に来てから、その多くの魅力に強く惹かれています。テキサス州は広大な土地にさまざまな気候が共存しており、エリアによって異なる風景を楽しめる点が特に魅力的です。ヒューストンは湿度が高いものの、少し車を走らせれば乾燥した地域や緑豊かなエリアにもアクセスでき、気分転換にも最適です。こうした環境の中で、新しい文化や価値観に触れながら、充実した生活を送っています。

個人的な関心事について

現在、私はコロラド大学ボルダー校の大学院に在籍しており、まもなく修了を迎えます。しかし、学び続けることの重要性を強く感じており、次のステップとしてExecutive MBAへ進学するか、AIに関するより技術的な分野を深く学ぶべきかを検討しているところです。ビジネスと技術の両面からキャリアを発展させるために、どちらの道が最適なのかを慎重に考えています。

一方で、休日は学業とは少し離れ、家の庭の手入れやDIYによる日曜大工を楽しんでいます。住まいを自分の手で少しずつ改善していくことに達成感を覚え、特に細かな作業に没頭する時間は良いリフレッシュになっています。学びと実践のバランスを取りながら、今後も新しい挑戦を続けていきたいと考えています。



ピーカンキッズ あそぼーかい

こんにちは！あそぼーかいです。4月のあそぼーかいは春をテーマに4月4日金曜日と4月26日土曜日の二回開催されました。毎月、月二回の開催とはいきませんが、ボランティアメンバーの増加に伴って、できる限りいろいろなスケジュールの方に対応できるよう、2025年度は平日と土曜日の二回開催にチャレンジしています。

さて、春をテーマにした今月のあそぼーかいでは、マスコットキャラクターのトラおくんとトラこちゃんが、アオムシやちょうちょうの小道具を使いながら、入園式や桜のお話をしてくれました。なかには、日本の桜をまだ見たことのない子供たちもいて、お話を聞きながらきれいな日本の桜に想像をふくらませました。

体あそび「キャベツのなかから」

春にちなんだ今月の体あそびは「キャベツのなかから」でした。リズムにのって、手を使い、キャベツの丸い形を表現します。キャベツのなかから出てくるのは、ゆびを使って表現するアオムシたちです。小さな子供たちも歌にあわせてゆびをニョキニョキ出し、最後はアオムシがちょうちょうになって飛んでいく様子を手のひらを使って表現することができました。簡単ながらも楽しい手遊び歌で、子供たちも大いに盛り上がる様子が見られました。ぜひご家庭でもお子さんたちと歌ってみてください。



▲ちょうちょう工作

パネルシアター「あしあとみつけた！」

「あしあとみつけた！」では、森の中でお父さんとはぐれてしまったたかしくんが、いろいろな動物のあしあとを追いながら森の動物たちに助けられ、お父さんと再会する様子をパネルを用いて表現しました。森の中から恐竜がでてきた時は、子供たちも驚いて歓声があがっていました。



▲パネルシアター「あしあとみつけた」

今月の工作と歌「ちょうちょう」

ちょうちょうの形に切られた色紙にのりやペン、シールや折り紙を使って思い思いのデコレーションを行いました。ちょうちょうの紙には小さな切り口が入っていて、切り口に指を入れるとちょうちょうをひらひらと飛ばすことができます。完成したちょうちょうを飛ばしながら、おなじみの童謡「ちょうちょう」をみんなで歌いました。ちょうちょうを手に、立ち上がって楽しそうに歌う子供たちもいて、大変愛らしい様子でした。

お誕生日会

最後にお誕生日の近いお友達にステッカーと折り紙でできたメダルをプレゼントし、お名前を伺って、みんなでお祝いの歌を歌いました。あそぼーかいでは会の最後にお誕生日会と称してみんなでお祝いの歌を歌います。お誕生日の近いお子さんはぜひ遊びに来て下さい。

今後の開催予定

7月と8月はあそぼーかいも夏休みでお休みとなります。9月の予定は8月下旬頃にヒューストン日本商工会のFacebookページ、ヒューストンナビにてお知らせの予定です。スタッフも随時受付中です。それでは皆さま、楽しい夏休みをお過ごし下さい！



参加者全員で行いました。1対1でタオルを引き合う、タオル引きは背中や体幹を鍛えるのにとても良いエクササイズで、まずは隣に座っている方と行い、その後、自然とパートナーを変えて行い、勝ち続けて自信のある方たちから、先生、勝負しましょう。と申し入れがあり、受けて立ちました。背中合わせ運動は2人組で背中合わせで座り、その状態から同時に立ち上がる運動で2人のタイミングが合った時、立ち上がれるので、心理的な要素も含まれ、今回のセミナーで1番盛り上がりました。2人組から少しずつ、人数を増やし、最終的に10人ほどで挑戦して成功し、大盛り上がりでした。

最後は、セミナー参加者全員にモビリティボールを贈呈し、それを使って、筋肉が固まりやすい肩甲骨、臀部の坐骨神経周辺、ハムストリングス、足底筋のストレッチをみなさんにご紹介しました。その後、お茶を飲みながら参加者の方たちと談笑してとても楽しいひとときでした。ジムでひたむきにトレーニングも良いですが、笑顔で体を使う習慣をつければそれに越したことはないですね！

三水会クラブ

先月4月30日に三水会クラブでカイロプラクティックセミナーを行いました。三水会クラブでセミナーを実施するのは3回目ですが、今回は趣向を変えて、全員参加型のセミナーを行いました。テーマはあなたのカラダ年齢は何歳？簡単エクササイズで測ってみよう！ということでバランステストとして目を閉じて片足立ちをして何秒立っているか、筋力テストとして30秒間でスクワットが何回できるか、頭上からティッシュを落とし片手でつかめた位置によって、年齢を判定したりと年齢別に設定された回数や秒数以上出来れば、実年齢より若いという結果が出て、大変盛り上がりしました。

もう1つ遊びながら体を鍛えようをテーマに家でゲーム感覚でできるエクササイズを



女性のキャリアについて語ろう

「三水会クラブ」特別企画キャリアデザインシリーズ第一弾

4月25日、生活・情報委員会「三水会クラブ」は、「女性のキャリアについて語ろう」と銘打った昼食会を兼ねた交流会イベントを、三水会センターの会議室において開催しました。このイベントに寄せられた関心は高く、定員20名のところ24名がお申込み下さり、事務局から2名、ゲストスピーカー2名、司会者1名の合計29名にて開催いたしました。会場で交流が深まるよう、参加者の皆様には、当日の受付時に好きな色の名札シールを選んで頂き、同じ色を選んだ人達が、会場に5台用意したその色のテーブルに座る設定としました。イベントは、まず昼食会、続いて講演会というプログラムで、昼食会ではお弁当を楽しみながら、アイスブレイクの目的でお一人ずつ自己紹介をして頂き、お名前だけだと物足りないで、「アメリカでお薦めの旅行先」またはこれから行ってみたい場所などを一言添えて頂くことにしました。この、自己紹介に添える一言が参加者の皆様には特に好評だったようで、自己紹介タイムが始まると、多くの方が箸を止めて各人の話に聞き入ることになり、お弁当の蓋を途中で閉めて持ち帰る方もいたほどでした。自己紹介タイムは予定の時間をオーバーしてしまいましたが、お互いのことを知る貴重な機会となりました。

自己紹介タイムに続いて、メインイベントである講演会に移りました。今回、ゲストスピーカーには、クラレアメリカ社の不破玲子様と、三井物産株式会社よりMMTX社に出向されている中込冴子様のお二人をお招きしました。講演では、「キャリア転機とその乗り越え方」、「リーダーシップとマネジメントスキル」をメイン・トピックとして、入社から現在に至るまで、ライフイベントを交えてのワーク&ライフ・バランスについて語って頂きました。このトピックは、本イベントへのお申し込みの際に、ご回答頂いた事前アンケートで最も希望が多いトピックでした。講演のあとの質疑応答では、ゲストスピーカーと参加者が自由に発言しあう場となり、このディスカッションを通して有意義な情報共有ができました。

本イベントは、これまで生活・情報委員会を盛り立ててきて下さった小林前事務局長にとり、事務局長として参加する最後のイベントともなりました。そこで、小林前事務局長に、これまでの経験談やそれに基づいた助

言などをお願いしたところ、「人生は計画通りにいかないことばかりです。本当はこうなりたいのに、今できていない自分と葛藤して、心が焦ったりするけれど、一見して無駄と思えることでも、無駄な経験は一つもありません。」という、それぞれの胸に響くことばを頂戴しました。小林前事務局長には、11年という長きにわたり多方面でご支援、ご助力下さったことに、心より感謝申し上げます。

今回の交流会イベントの後、参加者の皆様には、イベントへの感想、「今後取り扱ってほしいテーマ・内容」など、事後アンケートにもご協力頂きました。この事後アンケートの結果は、キャリアデザインシリーズ第二弾、第三弾と続けていけるよう、参考にさせていただきます。キャリアデザインシリーズのみならず、三水会クラブの活動についてのアイデア、ご意見などございましたら、[商工会事務局](#)までぜひお寄せください。この度のイベントにご協力頂きました事務局の皆様、ゲストスピーカーの皆様、活発にご発言下さった参加者の皆様に心よりお礼申し上げます。

(生活・情報委員長 根本 真樹子)



リレー式

ヒューストン日記

第248回 吉本 美沙都さん

2021年12月、4歳の娘と1歳の双子を連れて夫の待つアメリカへ渡った。夫の駐在が決まった時、我が家の最大の不安は、娘の療育についてだった。娘は3歳の時に日本で「自閉傾向あり」と診断され、地元の保育園と並行し週3回の療育に通っていた。明るく優しい子だったが、こだわりが強く、集団生活では困ることが増えていた。

当然だがアメリカの療育制度はまったくの未知だったので、日本でできる限りの準備を進めた。当時は公立の学校で娘を受け入れてくれるのかという不安もあって、とにかく現地のデイクアや私立の療育施設に片っ端からメールを送ったが、返事はほとんどなかった。ようやく返信くれた1校にも「公立校に連絡して」と言われ、不安ばかりが募った。日本で通っていた療育施設が作ってくれた日々の記録や発達検査の結果をネットで探した翻訳会社に依頼し、英訳した。日本の医師には「診断名をつけるかどうかは親次第」と言われたが、アメリカで支援を受ける可能性を広げたくて、英語の診断書も用意した。

渡米後、まずは必要書類を揃えるためプライマリドクターを受診した。診断書を見せると、すぐに「特別教育を検討すべき」と書かれた School Letter を書いてくれた。これを持って最寄りの公立校へ行くと、来週から PreK に通っていいと言われ拍子抜けした。あれほど不安だったのが嘘のようだった。

とはいえ現実には甘くなかった。娘は毎日泣きながら学校から出てきた。こだわりが強いうえに英語が通じないのだから当然だった。「そんなことで？」と思うようなことでも泣きわめき、その理由を私が拙い英語で先生に説明する日々。毎日のようにメールをやりとりした。子ども3人をカートに乗せながらの帰り道は暗い気持ちになることも多かった。

特別支援の審査期間は3カ月あり、その間は通常クラス1本で過ごした。審査に関わる面談にはすべて日本語通訳がつき、娘の発達テストにも通訳が同席してくれた。娘の様子を英語で説明することに苦慮していた私にはありがたかった。支援内容が決まったのは5月。ところが「8月からはバスを出すから同じスクールディストリクト内の支援の手厚い学校に転校ね」とあっさり言われ、また驚かされた。1月から8月までは療育らしい支援はなく、民間療育も数年待ち。何もできず悔しい思いをしたが、8月からは転校先で通常クラスに在籍しつつ言語療法と特別支援を受けられることになった。

転校先では素晴らしい先生に恵まれた。最初は教室から逃げていた娘も、笑顔で「楽しかった」と言って帰ってくるようになった。今年からは最寄りの学校に戻れることになり、親は名残惜しいが、娘本人はクロッとしている。

アメリカの療育で驚いたのは、自己肯定感を何より大切にする姿勢だった。日本では「みんなと同じように」が重視されていたが、アメリカでは「あなたのままでいい」と言って褒めてくれる。3年経ち、娘は少しずつ、自分のペースで成長している。

課題がなくなったわけではないし、この先も山はあるだろう。でも、「生きやすさ」を少しでも上げるために、私はこれからも彼女と並走していこうと思っている。



第5回JMTXウェビナー報告レポート

「アメリカでの体調不良～受診と処方・市販薬と薬局について～」

JMTX(日本テキサス医学振興会)は、ヒューストンを中心としたアメリカ在住邦人に医療情報や日本人医師ネットワークを提供し、適切な医療を受けられるようにすることを趣旨として活動しています。2025年3月29日、「アメリカでの体調不良～受診と処方・市販薬と薬局について～」をテーマにウェビナーを開催しましたのでご報告致します。



ウェビナーQ&Aセッション

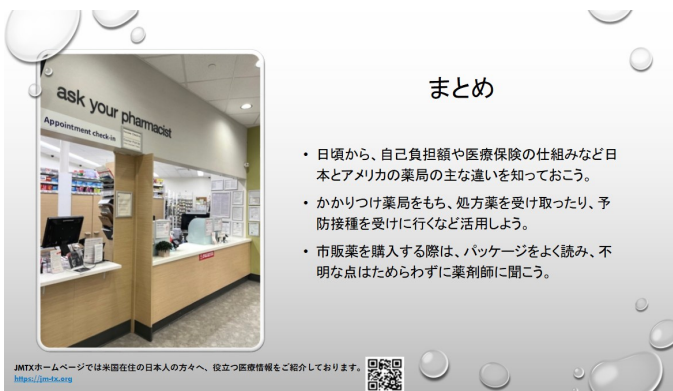
上段左: 神保 真人医師(イリノイ大学家庭・地域医療学教室主任教授)、上段右: 山口 純子氏(Walgreen薬剤師)、中段左: 生駒 成彦医師(JMTX・司会進行)、中段真中: 三好 由希子氏(京都大学医学部附属病院薬剤部)

はじめに神保医師より「アメリカでの診療所受診と処方薬」というタイトルで講演をいただきました。日本とアメリカの医療事情の違い、受診を考慮すべき症状と受診先についてお話頂き、もしも受診が必要になったときに具体的に役立つ知識をたくさん得ることができたかと感じます。また、多くの人にあまりなじみのない「かかりつけ医」についてもご説明いただきました。アメリカでは健康に何の心配がなくてもかかりつけ医を作ることは全く違和感はなく、もともと健康で持病などがなくても、環境の変化によって何が起きるかわからないため、かかりつけ医を持つことは重要であるとお話を聞き、多くの方がかかりつけ医の重要性を認識されたのではないのでしょうか。また、かかりつけ医を作っておくことで待ち時間が少なく診てもらえることがあるとの情報は有益でした。これまで、受診をしようとしてあちこちからたらい回しにされたり、折り返しの電話がなかったりなど、日本と勝手が異なる医療事情に苦労したことのある方もいるかもしれません。「アメリカではとにかく要求することが重要」という神保先生の言葉は、アメリカで暮らしていく私たちにとって重要なアドバイスだなと感じました。

続いて、山口純子薬剤師より、「アメリカの薬局、薬剤師の役割、市販薬」というタイトルで講演いただきました。普段あちこちで見かける薬局ですが、日本以上に多様なサービスを提供しているのが印象的でした。処方薬の受け取り・市販薬の販売だけではなく、食料品・日用品の販売、ワクチンの接種(アメリカでは一度に3-4本のワクチンを打つこともあるそうです)、レフィル(受診しなくても常用薬の補充をしてもらえる)などを行っています。また、お薬の値段が薬局によって異なるというのも驚きでした。1か月ではなく3か月処方にしてもらうことで大幅に安くなったり、お薬にクーポンを使う節約術を教えてくださいました。また、皆さんが薬局で悩む「どの市販薬を買えばいいの?」という疑問に対し、写真を交えながら具体的に説明をいただき、購入する際にとても役立つ知識を得ることができました。日本では売られていないけれど、アメリカでは薬局で販売されている薬などもあり、とても参考になるお話でした。



↑ 神保先生発表スライドより



↑ 山口氏発表スライドより

その後の質疑応答の時間には、日本から参加くださった三好由希子薬剤師も加わり、活発なディスカッションとなりました。参加者からチャットでの質問もひっきりなしに寄せられ、その場でスピーカーの方々から回答があり、聞きたいことをその場で聞ける貴重な機会になったのではないのでしょうか。

今回のウェビナーは約380名の方にご参加いただきました。終了後のアンケートでも「とても参考になった」「長年アメリカに住んでいるけれど知らないことがあった」など、うれしい感想をいただきました。今後もJMTXでは皆さんのご要望が多いテーマでウェビナーを開催していきたいと考えています。

免責事項: JMTXウェビナー及びこの報告レポートは情報提供が目的ですので、これらを理由に専門家の医学的な助言を軽視したり助言の入手を遅らせたりすることがないようにご注意ください。担当者は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努めていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。これらの内容に関連して、不利益を被る事態が生じたとしても、講演者及び日本テキサス医学振興会関係者は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。なお、これらは個人の見解であり各関係者が所属する組織の見解ではありません。(JMTX理事 茨木 栄梨)

今月号は小山 虹輝先生から神経変性疾患がご専門の新田 陽平先生にバトンが移りました。

第245回 バナナのまわりにいるあの虫で、 脳の病気がわかる？

ベイラー医科大学 ポスドク 新田 陽平



皆様、こんにちは。ベイラー医科大学でポスドクをしております新田陽平と申します。このコーナーでは毎回、臨床の先生方が病気の症状や健康を維持するための秘訣を提供してくださっておりますが、今回は趣向を変えて病気のメカニズムといった基礎的な話とちょっとした小咄を紹介いたします。

タイトルにもあります通り、我々の研究室ではコバエ(ショウジョウバエ)を実験動物として用いて、アルツハイマー病をはじめとした神経変性疾患のメカニズムを研究しております。キッチンにバナナなどを放置していると湧いてくるあのコバエです。「え？コバエに脳ってあるんですか？」と驚かれる方も多いと思いますが、彼らは想像以上に人間のような振る舞いをみせます。例えば、ハエに電気ショックとある匂いを同時に与えますと、ハエはその匂いを覚えて嫌いになりますし、逆にご飯と別の匂いを同時に与えると今度はその匂いを好むようになります。また、メスのハエにたくさんフラレてしまったオスのハエは、お酒をより多く摂取することが知られています。このような振る舞いを司っているのはもちろん脳です。ハエの脳は1mmにも満たない大きさで、わずか10万個程度の神経細胞から構成されています(人間の脳は約860億個)。このシンプルさが、複雑な脳の仕組みを研究するのに適しているのです。さらに、驚くべきことに、病気に関連する遺伝子の約75%がハエにも存在することが分かっているのです、アルツハイマー病の研究にも非常に有用なモデル生物と言えます。

1. アルツハイマー病とは

アルツハイマー病は、脳の神経細胞が徐々に死んでしまう病気です。その結果、新しいことが覚えられない/思い出せないといった記憶障害や、時間や場所がわからない認知障害、判断力の低下、人格の変化を引き起こします。65歳以上の人ではもっとも多い認知症であり、アメリカでは約720万人の患者がいると推計されています。近年では、病状の進行をある程度抑える新薬レカネマブが登場しました。この薬によって認知機能の低下を30%ほど遅らせることができますが、死んだ神経細胞が復活するわけではなく、認知機能の低下自体は止められません。ですので、アルツハイマー病自体にならないことがいちばん大切なのですが、どのようなメカニズムでアルツハイマー病に罹患してしまうのか、ということについては、未だに明快な解は得られておりません。アミロイドβというタン

パク質の蓄積(レカネマブはこの蓄積を減らします)や、タウというタンパク質の変化(リン酸化:タンパク質に特殊な化学基が付加される現象)、APOEというタンパク質の変異(APOE4)がアルツハイマー病の原因として有力視されておりますが、これらの現象が神経細胞を死滅させるメカニズムは未解明です。先述した通り、我々の研究室ではコバエをつかってこの謎に立ち向かっています。

2. ハエで明らかになったアルツハイマー病の発病メカニズムの一端

それではアルツハイマー病はどのようなメカニズムで引き起こされてしまうのでしょうか。その前に、脳を構成する2種類の細胞について説明をさせていただきます。1つは神経細胞(ニューロン)と言い、別の神経細胞と連絡しあって目や耳や肌からの感覚を受け取ったり、記憶を形成したりしています。我々が想像する脳の機能を主に担っているのが、この細胞種です。もう1つの種類の細胞はグリア細胞と呼ばれており、神経細胞の周りに存在し脳のメンテナンスを担っています。

神経細胞が働くと、細胞内に活性酸素が作り出されます。この活性酸素が細胞の中にある脂肪と結合すると、過酸化脂質とよばれる有毒な物質に変化します。通常、この過酸化脂質が神経細胞からグリア細胞に輸送されます。そして、グリア細胞の中で過酸化脂質が無毒化され、脂肪滴という形で貯蔵されます。もちろん、これだけでは脂肪滴がグリア細胞に蓄積する一方です。しかし、睡眠中に、この脂肪滴は分解されエネルギーとなって神経細胞に送られます。この脂肪のリサイクルによって、過酸化脂質は無毒化されます。しかし、このメカニズムが破綻してしまうと神経細胞やグリア細胞に有毒な過酸化脂質が蓄積して細胞が死滅してしまいます。アルツハイマー病の原因となる遺伝子は、このメカニズムの破綻を引き起こします。例えば、アミロイドβの蓄積によって活性酸素の生成が促進されます。タウはグリア細胞において脂肪滴の形成に関与していますが、タウに異常が生じると脂肪滴がうまく形成されなくなってしまいます。また、APOEは神経細胞からグリア細胞への過酸化脂質の輸送に関与しているのですが、異常が生じている人では過酸化脂質をあまり輸送できなくなってしまう、過酸化脂質が神経細胞内で蓄積してしまい神経細胞を傷つけてしまいます。このメカニズムはハエで発見されましたが、その後の研究で哺乳類でも同様の現象が確認されました。

3. 脳を健康に保つために

アルツハイマー病では、記憶障害や認知障害が起きる10年以上前から神経細胞が死に始めていると考えられています。ですので、症状が始まってから生活習慣を改めるのではなく、今のうちから脳によい生活習慣をもつことが大切です。特に大切なのが睡眠です。先述したように、睡眠中にグリア細胞の脂肪滴が分解されて神経細胞への栄養になります。どのくらいの時間寝るのが一番良いかについては、まだ科学的な解は得られていませんが、少なくとも寝不足を感じる状態では健康に良くないのは確かです。しっかりした睡眠をとって、脳の健康を保ち、楽しく人生を過ごしましょう！



今回はMD Anderson Cancer Centerの免疫学部門に所属されている箕輪 智幸先生です。

Houston Walker

■夏季営業中 [Typhoon Texas](#)

夏といえばプールですね！ヒューストンのケイティとオースティンにあるタイフーンテキサスは、スリルのあるウォータースライダーや流れるプール、波のプールなどがあるウォーターパーク。8月11日まで連日オープン、2回以上行くなら年間パスがお値打ちです。

■夏季営業中 [Lagoon Fest Texas@ Texas City](#)

ガルベストンへ向かう途中にある人工の白砂で作られた12エーカーのラグーン。地域住民用に開発されたものですが、一部は Lagoon Fest Texas Beach Club & Adventure Parkとして公開されています。カヤックやパドルボート、障害物コースなどのビーチアクティビティを一日入場券などで楽しむことができます。

■Jun. 20 [Asia Fest@Asia Society](#)

アジアソサエティでアジアフェストが開かれます。アートクラフトや文化デモンストレーション、フード屋台や雑貨マーケットなど、入場は無料ですがウェブサイトからの登録が必要です。建物内のパフォーマンスは別途チケットが必要となります。

■Jun. 28 [Pride Houston 365@ Downtown](#)

6月はLGBTQプライド月間。プライドヒューストンは、はや50年近く続いているイベントだそうです。パレードはヒューストン市庁舎よりスタート、フェスティ

バルは市庁舎周辺の広場にて開催予定です。

■開催中-Sep. 15 [Floating World: A.A.Murakami](#)

ヒューストン美術館で日本人建築家・村上あずささんのデザインデュオA.A.Murakamiによる展示が行われています。東京とロンドンをベースに夫のアレクサンダーさんと共にアート・建築・デザイン分野で活動。作品は光が浮かび揺れるインタラクティブなインスタレーション。

■Jul. 15 [MLB All-Star Game® Atlanta](#)

今年のMLBオールスターゲームはアトランタ・ブレーブスの本拠地にて開催。大谷選手の活躍にも期待がかかりますね！ホームランダービーは7月14日、オールスターゲームはFOXチャンネルにて放映されます。

<アメリカ独立記念日”The 4th of July”イベント>

■[FREEDOM CELEBRATION@KATY](#)

ケイティではウォーターパークTyphoon Texas にて花火が打ち上げられます。午後9時からスタート、ケイティミルズモールの駐車場から眺めるのがオススメです。

■[4th of July Celebration on Skylawn@ POST](#)

ダウントウンPOSTからヒューストン市開催の花火FREEDOM OVER TEXASを楽しみませんか。屋上の芝生エリアでは独立記念日イベントが開催されます。有料の駐車場があります。

内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。



～図書館便り～

ホリデー休館日のお知らせ

独立記念日ホリデーに伴い、三水会センター(図書館、商工会事務局)を下記日程にて休館させていただきます。※休館に伴い、6月17日(火)～6月21日(土)の貸出本は3週間の貸出期間となります。詳細は商工会ホームページをご確認下さい。

休館期間: 6月29日(日)～7月7日(月)

ボランティア募集

- ・図書カウンターにて貸し出し＆返却、本の整理など、お時間がある時にお手伝いに来ていただける方を募集しております。
 - ・おすすめの本についての執筆記事を募集しております。いただいた記事はガルフストリームに掲載させていただく予定です。色々な本を手にとっていただけるきっかけや、もっと本が好きになるきっかけになると良いなと思っています。
- ご興味、またはご質問のある方はお気軽にご連絡ください。 sansuikai@jbahouston.org

令和6年度(2024-2025) 5月 商工会理事委員会 議事録

日時: 2025年5月21日(水)12:00-13:45

会場: 三水会センター会議室

出席者: 15名(うち名誉会員2名、理事委員7名、代理1名、オブザーバー1名、事務局長1名、オンライン参加一理事委員1名、代理2名)

欠席者: 9名(うち第一副会長委任9名、代理委任0名)
会長が欠席の為、議決については川上第一副会長に委任

*会員消息

2025年5月15日現在の会員数は名誉会員11名、正個人会員937名(正団体会員数:117社)、準会員56名、総会員数1004名。



免責事項:本紙掲載の情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保障するものではありません。情報が古くなっていることもございます。掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また本誌に掲載したリンク先の第三者サイトについて、同サイトに掲載されている内容を確認していません。ご自身の責任でご利用ください。

編集後記

本誌『ガルフストリーム』をご覧いただき誠にありがとうございます。私自身、ヒューストンに来て約1年。まだ知らないことも多く、日々新しい発見の連続です。到着早々、ハリケーンやトルネードの影響に直面し、地域に根差した正確な情報の重要性を実感しました。新天地での生活は住宅探しから始まりますが、治安や医療、店舗、学校、日系企業の分布など、必要な情報をどう集めるかが課題でした。ネット検索も便利ですが、地域の全体像をまとめて把握できる媒体があると、心強く感じます。

『ガルフストリーム』が、ヒューストンに暮らす皆さまにとって有益な情報源となるようお願いしながら、編集に携わっています。初めて来られた方にも、長く暮らす方にも役立つ誌面を目指し、一同で取り組んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

(商工会事務局 富田 妙子)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中!

問い合わせ先: sansuikai@jbahouston.org

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

<https://www.jbahouston.org/gulfstream.com/>

発行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 濱田 哲

編集委員長: 伊藤義治

構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同